

2023年北区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

区政に対する基本的な考え方

やまだ加奈子

橋本やすこ

こまざき美紀

花川よそうた

めざすべき将来像

北区民の意見や想いが北区の政策や事業に反映される「区民参加型」、そして「人に優しい区民サービスNo.1」の北区を作ります。時代の流れについていくスピード感や現場主義と双方向主義、公民連携を強化して、区役所が区民基準の考え方・意識へと変え、徹底した改革によって誰もが幸せを感じられる北区を目指します。

地域主権と公共を取り戻し、平和と民主主義をベースにした区政を目指し、子供たちの意見も取り入れていきます。区が積み立てた基金を区のために使うことで、まず区民の生活を豊かにし、丁寧な対話による、やさしさめぐるみんなのまちづくりを進めます。立ち上がる区民と共に小さな声に寄り添う姿勢を貫いていきます。

- 1) 誰も孤独にさせないぞ、とおせっかいで
- 2) 優しくて懐深く
- 3) 新しくて心躍り
- 4) めくもりがあつて
- 5) こどもがまんなかのそんな北区を目指します。

「子育てするなら北区が一番」子どもたちや子育て世帯が北区で産み・育て・住み続けたいと思える北区。「長生きするなら北区が一番」いくつになっても、住み慣れた地域で、自分らしく生きがいをもって暮らすことができる北区。「自身・風水害に強い安全・安心で人に優しいまちづくり」安全・安心で、誇りと愛着を持てる北区。

現状認識

北区では現在、自主財源である特別区税が全体の17.2%と低く、都との交渉の中で財源を確保する都区財政調整制度による特別区交付金も29.3%を占めるなど、区独自の判断で使用できる財源が少なく、都や国との連携強化が課題。公共空間利活用の最大化やふるさと納税改革などで、独自財源を生み出す「稼ぐ区政」を目指します。

駅前大型開発、特定整備路線、公園の廃止などを進めることで区民のためのまちづくりとなっていない。結論ありきでない、丁寧な説明と議論を重視した住民合意のまちづくりをします。住民合意が得られないものはいったん停止し見直します。

北区は23区内で高齢化率が非常に高く、子どもの割合も減少。つまり超少子高齢社会である日本の縮図。

ウクライナ侵略やコロナ禍の影響が長期化し、エネルギーや物価高騰の影響が区民生活等に影響を及ぼしている。人口は民間開発などの影響もあり増加傾向にあるが、長期的には少子高齢化が進展する。気候変動による異常気象に伴う大規模水害への備えが必要であり、都市インフラをはじめとするハードの行進・整備も急務。

解決したい課題

新庁舎移転に合わせた王子駅再開発などの主要4駅の再開発が重要な課題です。また児童手当等から所得制限を撤廃し、「北区こどもみらいプラン」策定等で総合的なこども政策を進めます。高齢者福祉では在宅介護支援やシルバー人材センター等の連携で高齢者の活躍の場を生み出し、区民が支え合い、つながる社会を目指します。

子育てにかかる経済的不安をなくします。子どもが安心できる居場所をつくります。子ども議会をつくり、子どもの声を活かした子ども条例をつくります。

- 1) 超少子高齢化
- 2) 水害に脆弱
- 3) インフレによる地域経済の打撃

- ・長期的な人口減少・少子高齢化を見据えた、少子化対策・子ども子育て施策の更なる推進
- ・駅周辺をはじめとするまちづくりの推進、都市インフラの更新
- ・脱炭素社会の実現
- ・人生百年時代の高齢者福祉の推進

2023年北区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

政策分野の注力度

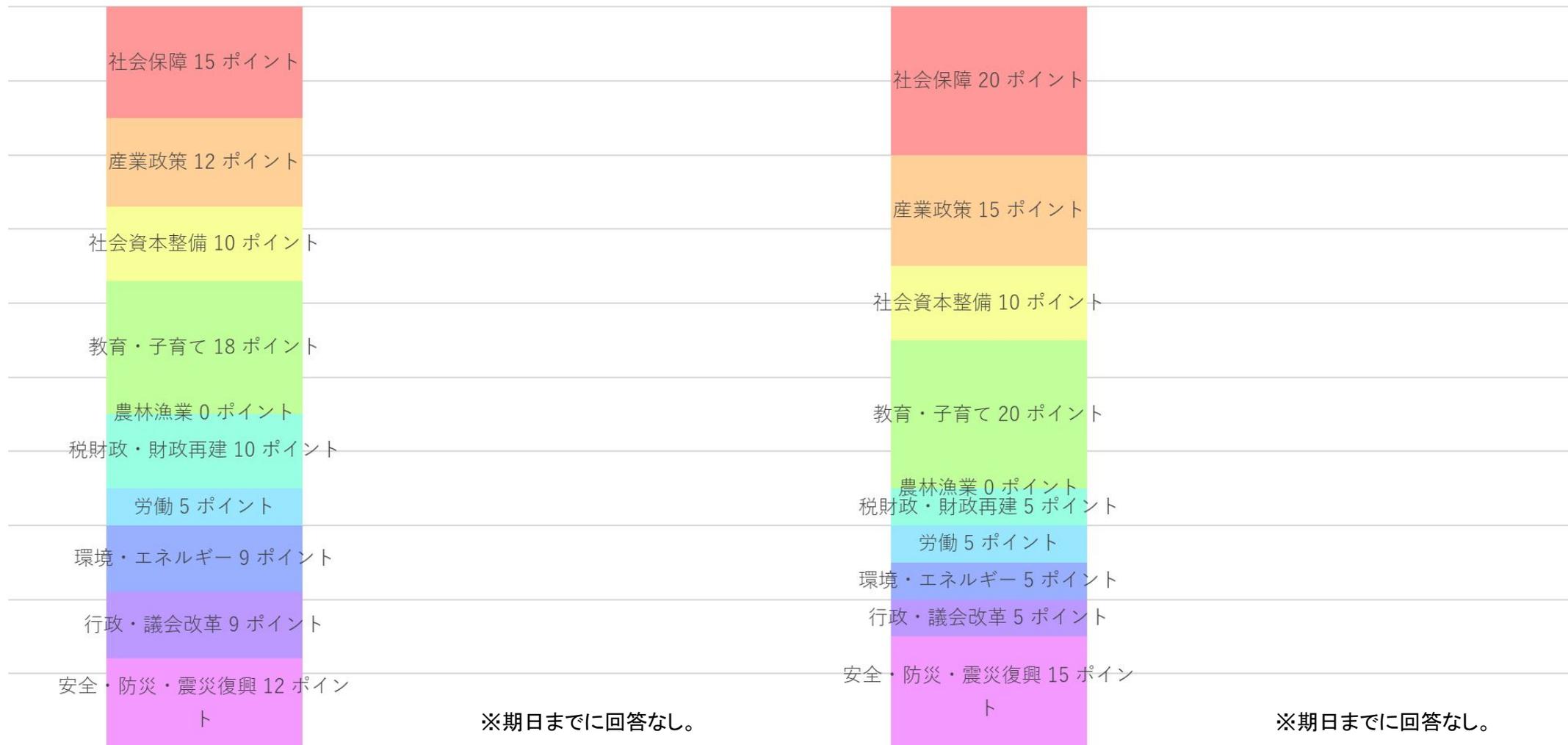
(予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分)

やまだ加奈子

橋本やすこ

こまざき美紀

花川よそうた



※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2023年4月16日現在で作成しました

2023年北区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第1優先(「政策分野注力度」の中から選択)

	やまだ加奈子	橋本やすこ	こまざき美紀	花川よそうた
政策分野	教育・子育て	困窮支援	教育・子育て	教育・子育て
期限	就任後2年間(国より早く)	今すぐ	2027年	
数値目標	児童手当や児童扶養手当等の所得制限撤廃	調査に基づく	保育・給食・医療無料 & 無園児を9割減に	
予算	児童手当所得制限撤廃40億→42億 児童扶養手当所得制限撤廃7→14億	目標に見合う予算	~20億	
財源	ふるさと納税改革	財政調整基金	一般財源	
手段	<p>0~22歳のこどもの子育てと教育を融合した総合プランである「(仮)北区子どもみらいプラン」を策定し、児童手当の所得制限や私・公立幼稚園の給食費の現状の精査、国に先行した所得制限撤廃や給食費無償化のための実現計画を作る。</p> <p>区支出の見直しやふるさと納税改革など「稼ぐ区役所」への改革による財源捻出にも努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームレスの仮設住宅 低所得者への家賃補助 各世代にわたる衣食住の安定 	<p>子育ての負担と不安を減らす「子育て無料社会」(保育・教育・医療)を目指す。さらに、全ての子どもたちが保育園に通えるようにし、「地域で子育てする」北区を!</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育料に関しては、東京都が0-2歳の第二子保育料の無償化を発表したので、そこに準じて北区も無償化に踏み切る 給食費・医療費は無償化済み。更に算数セットや学校備品のリユース化を進める 共働きのための保育園から、全ての子どもたちが通えるように転換。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生までの医療費無償化 区立小中学校の給食費完全無償化 地域性を活かし、子どもたちの意見を尊重した子ども条例の制定 学童クラブ・放課後子ども総合プランによる待機児童解消 妊娠期から子育て期の切れ目のない伴走型の相談支援と経済支援の実施 学校改築・改修による教育環境の充実・確保

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2023年4月16日現在で作成しました

2023年北区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第2優先(「政策分野注力度」の中から選択)

	やまだ加奈子	橋本やすこ	こまざき美紀	花川よそうた
政策分野	社会保障	子ども政策	社会保障	社会資本整備
期限	区長在職4年間	今できるところから	2027年以内	
数値目標	健康寿命の延伸:目標3歳延伸 福祉施設入所率の向上:98%台	2000世帯のひとり親家庭から始め全 子育て世帯へ	最低2カ所の特養設置・就労困難 者の雇用を1000人分創出	
予算	システム導入費の試算中	目標に見合う予算	約10億	
財源	現行の福祉予算	財政調整基金	基金・一般財源	
手段	かかりつけ医・薬局等による地域医療強化や医療機関・団体との情報連携による地域包括ケアシステム充実、北区版ウォーキングアプリ「あるきた」等のデジタルデバイスによる健康寿命延伸、福祉施設空床率や待機者を減らすため都の補助制度を活用した介護DXや年間申込回数を2回から4~6回に増やす等による入所手続き改善。	<ul style="list-style-type: none">教育費無償化養育費の立て替え教員(補助要員含む)の確保不登校対策	高い高齢化率だからこそ、高齢者福祉のナンバーワンを目指す！そして誰ひとり取り残さない福祉に挑戦！ ・特別養護老人ホーム等の整備 ・いつまでもごきげんに暮らせるよう、補聴器・エアコン購入補助推進 ・「地域デビューマップ」で高齢者の地域貢献や就労、地域交流を後押し ・障害者やひきこもり・就労困難な方々の「はたらく」を地元企業と支援 ・「住み慣れた自宅で大切な人と最期を」在宅介護・医療体制の整備と看取り支援	<ul style="list-style-type: none">・新庁舎建設と連動した王子駅周辺のまちづくりの推進・十条駅西口再開発の完成と公益施設の導入・東十条駅の跨線橋架け替えとエレベーター設置・赤羽駅東口と西口赤羽台地区のまちづくりの推進・田端駅高台へのエレベーター設置・浮間地区コミュニティバスの運行・国や東京都と連携した都市計画道路の整備促進

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2023年4月16日現在で作成しました

2023年北区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第3優先(「政策分野注力度」の中から選択)

	やまだ加奈子	橋本やすこ	こまざき美紀	花川よそうた
政策分野	産業政策 / 安全・防災・震災復興	中小企業 商店街支援	産業政策	安全・防災・震災復興
期限	就任1年目	3年から5年	2023年度末	
数値目標	(防災)要支援者個別避難計画 0%→30% (産業)インボイス制度対象の企業数3 万社支援	モデル地区を中心に目標設定する	10億円規模	
予算	(防災)3~4,000万円 (産業)1,000万円	見合う予算	10億	
財源	(防災)都の予算を活用 (産業)一般財源	再開発の予算を一時凍結	一般会計と基金	
手段	「(仮)北区強靱化プロジェクト」策定で風水害・地震・災害時の電力対策等を充実し、要支援者個別避難計画を1年目で約3,000人策定し2~3年目に同避難訓練を実施、水害時の避難場所・経路・手段の確保を進める。インボイス制度導入企業の相談窓口(中小企業診断士含める)を設置し、税務関連団体と連携し伴走型支援を行う。	・まちづくりの視点から住民全体の課題として取り組む	コロナと物価高騰のダブルパンチで傷んだ地域経済と家計を癒す！経済対策の実行 ・輝く個店・中小企業が北区を照らす！個性的な商店や地元企業に行政が積極発注 ・我らが渋沢栄一にあやかり「起業するなら北区！」政策を進める ・荒川でカヌーしてBBQしてテントサウナで整う！水辺を誰もが楽しめる遊び場に ・アートや音楽の溢れる街へ！ココキタや王子小劇場を拠点にし文化芸術をてこにしたまちづくり	・荒川氾濫時の高台避難ルートの確立と避難施設の確保 ・要配慮者一人ひとりの個別避難計画策定 ・避難所開設・うんえい訓練の実施 ・木造住宅密集地域の解消による防災まちづくり ・客引き行為防止パトロールの実施 ・町会自治会や商店街への防犯カメラ設置の推進 ・街路証明・公園証明のLED化の実現 ・高齢者の特殊詐欺の防止・啓発

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2023年4月16日現在で作成しました